



# 協働のまちづくりを実現する 市民討議会 NEWS

発行：平成29年9月 伊予市未来づくり戦略室 [伊予市米湊820番地 089-982-1111]

## 第3回伊予市市民討議会を開催しました！

伊予市では平成27年から、より多くの市民の方に「第2次伊予市総合計画」の内容を知って頂くとともに、参画と協働のまちづくりを進めていくために市民討議会を開催しています。3回目となる今回は8月20日(日)、伊予市役所4階会議室で開催しました。無作為抽出で2,000名の市民の皆様にご案内し、希望された49名の皆様にご参加いただきました。

はじめに第二次総合計画の進捗・達成状況の分析から、市民の皆様からアイデアをいただきたい20の課題について説明しました(p2)。次にグループで検討していただくテーマについて、くじ引きと話し合いで3つを決めていただきました。その後、3回テーブルを移動しながら、そのテーブルの課題に対して、達成目標を実現するためのアイデアや具体的な提案をポストイットに書き出してくださいました。

最初のグループに戻ってグループごとに昼食をとった後、説明が足りなかった項目について、いくつかの質問にお答えしました(p3)。その後、3つのテーブル課題について、実現するための具体的な政策をまとめ、全体の場で発表していただきました(p4~)。

短い時間ではありましたが、幅広い分野の中から偏ることなくすべての課題が選ばれ、課題解決に向けたアイデア・提案もたくさん出してくださいました。最後にお聞きしたその場アンケートでは、44の方が市民討議会の体験を「楽しかった」と答えたことには少し驚きました。こうした話し合いを繰り返していくことから、これからの伊予市が生まれるのだと確信しています。

### ＜市民討議会プログラム＞

#### 1：はじめに

##### 第1ラウンド

ステップ2：伊予市総合計画進捗・達成状況から20課題を説明します

##### 第2ラウンド

ステップ3：20の課題の中から3つのテーブル課題を選んでもらいます

##### 第3ラウンド

ステップ4：何でも質問ポストイットにお答えします。

ステップ5：3つのテーブル課題を実現するための具体的な政策を提案してもらいます

ステップ6：グループで考えた目標達成のための政策を発表してもらいます

ステップ7：まとめ

#### 【武智市長の挨拶】

市民討議会も今年で3回目になります。「住んでよかった」また「住んでみたい」と思える伊予市になるよう、皆様のご意見やご提案を行政に反映させていきたいと存じますので、素晴らしいアイデアを賜りますようお願い申し上げます。



#### 【別府大学篠藤先生の挨拶】

自然災害、人口減少、財政難など、全ての人の知恵と力が結集しなければこの課題は超えていきません。地域の財産は人の力です。ここに基を据えない限りこれからの公共的な世界は成り立ちません。皆さん方が自由に話し合うことが総合計画をチェックする上でも、これから進展させていく上でも土台になると思います。

# 伊予市総合計画の目標達成のために 検討してほしい20課題を説明しました

第2次伊予市総合計画の進捗・達成状況について報告し、目標を達成するために市民の皆さんからアイデアをいただきたい20の課題について、事務局より説明しました。

## <総合計画の体系図>

伊予市の将来像  
『まち・ひと ともに育ち輝く伊予市』

### 未来戦略1：3万人が住み続けられる 環境をつくります

基本目標1 快適空間都市の創造
1-① 住みやすい都市空間づくり★
1-② 人に優しい道路・交通体系づくり★
1-③ 情報化社会に対応した基盤づくり★
1-④ 安らぎのある住環境づくり
1-⑤ 潤いのある水環境づくり
1-⑥ 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり★
1-⑦ 循環型社会構築に向けた環境づくり★
基本目標2 健康福祉都市の創造
2-① 次代を担う子供たちの育成支援★
2-② 生涯にわたる健康づくり★
2-③ 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践★
2-④ 心の通った社会福祉の推進★
基本目標3 生涯教育都市の創造
3-① 学校教育環境の整備・充実
3-② 誰もが平等な社会づくり★
3-③ 生涯にわたり学習できる環境づくり★
3-④ 誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興★
3-⑤ 個性豊かな文化の振興

### 未来戦略2：3万人を支える産業を育てます

基本目標4 産業振興都市の創造
4-① 魅力ある農業の振興★
4-② 持続的な林業・水産業の振興
4-③ 活力ある商業・工業の振興★
4-④ 賑わいのある観光の振興★
4-⑤ 食と食文化を活かしたまちづくり★

### 未来戦略3：3万人の力を結集できる 意識改革を行います

基本目標5 参画協働推進都市の創造
5-① 市民が主役のまちづくり★
5-② 男女共同参画社会の実現★
5-③ 効率的で透明性の高い行財政運営

## <検討する20課題>

- ① 魅力ある中心商店街にするアイデアは？
- ② 使いやすいコミュニティバス(伊予地域運行)にするためには何が必要だと思いますか？
- ③ どのような情報を発信すればプッシュ型ユーザー登録者数が増えると思いますか？
- ④ 自主防災組織の防災訓練をより実践的なものにするにはどのようにすれば良いと思いますか？
- ⑤ 家庭や事業者にゴミ減量を進めてもらうためのアイデアは？
- ⑥ 魅力的な子育て支援センターにするためのアイデアは？
- ⑦ 地域食材を積極的に購入してもらい地産地消率を高めるためのアイデアは？
- ⑧ 介護予防教室等への参加を継続するためのアイデアは？
- ⑨ 認知症対策として市民の立場で何ができると思いますか？
- ⑩ ボランティア・チャレンジの参加者数を増やすアイデアは？
- ⑪ 人権意識を高めていくアイデアは？
- ⑫ 魅力的な図書館にするためのアイデアは？
- ⑬ スポーツに親しむ環境づくりに必要なことは？
- ⑭ 農山村の魅力を高めグリーンツーリズム体験者数を増やすアイデアは？
- ⑮ 空き店舗の効果的な活用方法のアイデアは？
- ⑯ クラフトの里の魅力を高めるためには何が必要だと思いますか？
- ⑰ ログマークをどのように活用していけばいいと思いますか？
- ⑱ 地域コミュニティ活動を活性化するには何が必要だと思いますか？
- ⑲ 移住者の気持ちになって考えると何が重要だと思いますか？
- ⑳ 審議会等への女性委員の登用率はどのくらいが適切だと思いますか？

# 何でも質問ポストイットにお答えしました

説明が不十分だった点について、質問をポストイットにお書きいただきました。それについて、事務局より補足説明しました。

○今回の20課題の項目は前回の討議会と同じでしょうか。

市：昨年総合計画にある「未来戦略プロジェクト」について、これらがより実効性が高くなるためにはどうしたら良いかを検討していただいた。

○コミュニティバスの見直しや再アンケート等、住民の意見集約はしているのでしょうか。又、計画はいつでしょうか。

市：コミュニティバスは平成27年から運行が開始されているが、まだ実証実験の段階である。実際の利用の状況や事業者、地域の皆さんの声を伺いながら計画は見直すということで進めている。

○デマンドタクシーの利用向上は図れているのか。住民からの意見要望は集約されているのか。

市：中山で2台、双海で2台のデマンドタクシーが走っている。コミュニティバスは定時定路線型だが、デマンドタクシーは電話で予約をし、登録している地点で乗り降りする。これは若干、利用者が減っているが、その要因はそれぞれの地域の人口減である。今は地域内の移動に限定しているが、それを地域外まで拡げるか、バス自体を増やすかも含めて、利用の向上を目指して見直しを行っており、改善されていくと思う。

○大企業などの誘致をして雇用が生まれる仕組みをつくれませんか？

市：湊町にある大きな埋立地の3区画のうち、2区画は事業者が決定し、残りの1区画についても近々事業者が決定することから、新しい雇用も生まれると思う。下三谷の工業団地にも1区画増やし、建設が始まっている。新規開発は農地法の関係もあり難しいところはあるが、フェアに参加するなど、伊予市で起業していただくための取り組みは継続していきたい。

○人口を増やす施策は？

市：市では2年前に「まち・ひと・しごと・総合戦略」を作り、4つの基本目標の下、51の取り組みを行っている。

1つは「地方における安定した雇用を創出する」。企業を誘致したり、農林水産業の後継者の育成、事業を興すことに力を入れている。

次に「地方への新しいひとの流れをつくる」。たくさんの人に伊予市に来て、好きになってもらうためにグリーンツーリズムや観光イベントを行い、交流人口を増やす施策を打っている。合わせて移住にも力を入れており近年、特に双海地域への移住者が増えてきている。中山、双海は年に100人ずつ減っているが、旧伊予市は人口が横ばい、もしくは若干増えているという状況がここ数年続いている。恐らく下吾川等のコーポやマンションに子ども連れの方が転入してきているのではないかと思われるがこれにも限界がある。一番簡単な人口増加策は都市計画区域を見直し、市街化調整区域を市街化区域に編入することだが、そうすると農地の保全が出来ないので、これは非常に難しい問題である。

次に「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」。市は近隣の市町に比べても充実した子育て支援事業をやっている。子育て支援センターの開設、病児病後児保育、中学生まで医療費の無料化等。

最後に「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域との連携を進める」。生きがいくくりとして介護予防教室、各地域のサロンなど人が集まれる場所を増やし、高齢になっても生き生きと暮らせるまちづくりをする。

これらの取り組みから、徐々に成果が見えてきているような状況である。

○危機意識の欠如！10年、財政が厳しいことを市民一人一人まで浸透。協働夢ものがたり！！市民参加主役の行政？

市：財政面は非常に厳しい。人口減により住民税も減り、法人税もなかなか増えない。一方、行政職員数は徐々に減少してきている。今ある財源をどう有効に使っていくかについて、市民の皆さんにもご負担をおかけすることもあろうかと思うが、その点についてはより周知をして、皆様と一緒に新しい伊予市をつくっていかれたらと考えている。

# 3つのテーブル課題を実現するための 具体的な政策をまとめていただきました

最初にくじ引きと話し合いで3つのテーブル課題を決めました。それから3回席を移動しながら、達成目標を実現するためのアイデアや提案をポストイットに書き出しました（ワールドカフェ）。最初のグループに戻り、書き残されたポストイットを確認しながら、テーブル課題を実現するための具体的な政策をまとめていただきました。全体の場で発表した後、「市に是非実施してもらいたい政策」を個人で5つ選んでシール投票しました。

## ① 魅力ある中心商店街地にするアイデアは？

4 グループ

14票

- 〔施策〕
1. 港を中心に町の開発。ヨットハーバー。（海の道の駅）
  2. 家庭の味、料理の掘り起こし（くじゆな苦汁菜料理等々）  
家庭の生活での風習の見直し（いのこ）

（ワールドカフェで出されたポストイット）

- ・そこに行かないと買えないものを作る。
- ・専門店をつくる（それぞれ信用度の高い）
- ・よそから来た人にとって少し入りづらいかも…。営業しているのかわかりづらい。もう少し入りやすいとありがたいです。
- ・観光客などが来られた時に安心して観光していただけるように交通整備を行う。→バイクや自動車。
- ・駐車場がないので駐車場確保は必要ではないのか。
- ・日本一の伊予港を目指すよう。八幡浜港みたいに！
- ・駐車場のマップがあるのか。いつ行っても駐車できるようマップを作っては？食堂の位置は？
- ・商店街には何があるのか、若い人が残っているのか。頑張っているのは分かるが地元のPRを。
- ・とにかく空き店舗をなくす。空き店舗の貸助金→空き店舗情報の提供。新しく起業(開店)しようとする事業者への優遇策。
- ・エミフル、スーパーへの対抗は難しい。他に市の資源を投入した方が良い。
- ・空き店舗で移住者が商売できるように市がマッチングする。移住者も増えていいのでは？
- ・子ども達が一泊楽しめる、いろんなものづくりが出来るところ。
- ・家庭生活の風習の見直し。
- ・家庭料理の掘り起こし。

## ② 使いやすいコミュニティバスにするためには何が必要か？

1 グループ

12票

- 〔施策〕
1. 停留所にマスコットキャラクターを置いて、その下に時刻表を大きく書いてほしい。  
ルート内なら手を挙げたら利用できるようにしてほしい。
  2. 1日4回にして、時間延長してほしい。（それなら利用したい）

（ワールドカフェで出されたポストイット）

- ・運行時間を18:00ぐらいまでにしてほしい。地域に応じて時間を考えてほしい。
- ・バスの利用をどんどん呼びかける。
- ・広報紙に時刻表を明記する。
- ・スクールバスの利用をさせてもらったら…（中山地区）
- ・1日2回は利用しにくい。回数を増やしてほしい！
- ・ルート上で手を挙げれば乗せてもらえれば…
- ・音楽をかけてわかりやすくしてほしい。
- ・若い人はコミュニティバスがあることを知らない。どこを走っているのか知らない。
- ・ルートの見直しをしてみてもいい。

## ② 使いやすいコミュニティバスにするためには何が必要か？

2 グループ

4 票

- 〔施策〕
1. 知らない事が多いので改善を。  
アンケートで利用者の声を聞き、利用者もしっかり答える。
  2. 市役所を拠点としたコースの見直し、時間の見直し。

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・自宅から乗り場までの移動が大変。どこでも乗り降りできること。
- ・PR不足なのでは？
- ・運行表、時刻表が分からない。バスの中に置く。
- ・1日2回では少ないので回数を増やして欲しい。
- ・アンケート（住民側、行政側）
- ・利用者の動線に合わせるのか、都市計画に合わせるのか。

## ③ どのような情報を発信すればプッシュ型ユーザー登録者数が増えるか？

4 グループ

0 票

- 〔施策〕
1. 内容不明

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・広報紙で何度かは周知していると思いますが、再度周知し、登録者を増やす。→アプリを登録することによってのメリットなどを詳しく伝える。
- ・伊予市外の人に対しては伊予市の認知度を上げないと登録者は増えない→メディアへの露出。例えば今日のこの会等、伊予市の施策をメディアに取り上げてもらう。伊予市提供のラジオ番組…。
- ・そもそもアプリがあるのを知らなかった→周知が必要。
- ・アプリを登録するメリットは？→メリットがないと登録しない。
- ・広報いよしのペーパーレス→登録者には電子媒体で提供→地域振興券
- ・情報を読んだらポイント加算。ポイントが貯まると何かと交換、体験できるといいかも。中山の栗、唐川のビワと交換。グリーンツーリズムの体験チケットに替えられるとか。



## ④ 自主防災組織の防災訓練をより実践的なものにするには？

2 グループ

11 票

- 〔施策〕
1. 防災リーダーの育成。リーダーと地域との連携

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・クリーンデー等に合わせて実施（上吾川）
- ・防災リーダーを育てる。レベルアップ（市として）
- ・新規移住者へのケア!!（了解）
- ・「85才でも何か役立てることがないか」  
こういう人を育てる。ありがたい。
- ・災害弱者救出の計画を急ぎ、訓練すること。



#### ④ 自主防災組織の防災訓練をより実践的なものにするには？

3 グループ

6 票

- 〔施策〕
1. 興味のある訓練
  2. 消防団活動と連携

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・まずは地域で集まる機会を作っては。
- ・多くの人を集める方法は、町内に回覧すること。
- ・地域住民に「私はここに住んでいますよ」と自覚させ、地域の会議で訓練の参加を促す。
- ・多人数での参加事と、個人でも参加できる方法を作成してみても。
- ・バケツリレーを1回したら、もう行く気にならない。
- ・継続できる内容を考えて欲しい。
- ・防災意識を高める。
- ・経験を増やす。
- ・防災マップ作成に工夫をして下さい。各諸事情があると思うので…。

#### ⑤ 家庭や事業者にゴミ減量を進めてもらうためのアイデアは？

4 グループ

10票

- 〔施策〕
1. ゴミの分別を細分化（日本一）
  2. 乳児、高齢者の紙おむつの無償化

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・ごみを減らす種類や問題提起を市役所からまず出して欲しい。
- ・資源ゴミとして活用（発電話用他）
- ・再利用できるアイデアを先人に聞く。
- ・ゴミ袋(有料)のサイズダウン品。特小サイズがあれば少なくしようとがんばれる。
- ・ゴミ袋に押し込む時、破れないように袋を丈夫にする。
- ・燃えるゴミ袋以外の袋も有料にする。
- ・商品の量り売りをしてはどうか。発泡スチロールの容器が減るのでは。
- ・生ゴミを各家庭で処理できる機械を無料で配付すれば。コンポスト等。
- ・ゴミの分別を細やかにする（松山市みたいに）。
- ・回収業者さんに出し方の注意点を聞く。
- ・市のゴミ焼却場に燃えるゴミ、木材、衣類、ガラス、金属等を分別して処理できる場を設置してほしい。
- ・ゴミ出し量（重量）を記録
- ・ゴミ減量のPRを徹底
- ・ゴミ回収日を減らす。
- ・フリーマーケットや、使える物を買取る仕組みをつくる。

#### ⑤ 家庭や事業者にゴミ減量を進めてもらうためのアイデアは？

8 グループ

6 票

- 〔施策〕
1. コンポストの利用、普及推進（コンポストについての正しい利用法などの周知を推進し、補助があることを知ってもらう）
  2. リサイクルボックスの設置

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・新築家庭へコンポストの使用案内
- ・重量記録
- ・コンポストの普及
- ・コンポストの利用。生ゴミの肥料へ転換の支援。（バケツ等の利用で出来る）



## ⑥ 魅力的な子育て支援センターにするためのアイデアは？

7 グループ

6 票

- 〔施策〕
1. メール等によるきめ細やかな情報発信及び申し込み
  2. 校区別での活動

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・ホームページ、メール、ラインを利用した活動をとっかかりとして利用者を拡大。
- ・人を集める為に連絡を密にする。集まると友人となり、増える可能性あり。
- ・子ども用品の交換会などのイベント開催
- ・保健センター、支援センターの健康に関する行事をもっと増やしてほしい。
- ・コミュニティに入りにくい。
- ・校区に分けてもらいたい。
- ・働く女性への利用促進、啓発
- ・利用者アンケートの実施
- ・数値目標は利用者数ではなく利用率にすべき。

## ⑦ 地域食材を積極的に購入し、地産地消率を高めるためのアイデアは？

5 グループ

9 票

- 〔施策〕
1. 佐礼谷食堂の郡中版
  2. 郷土料理の掘り起こし、食育、PR!!

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・ハモカツバーガー etc.のPR
- ・ハモはどこで食べれば？料理屋情報。地元PR。
- ・農家さんのPRが必要では！
- ・食べられる状態に。付加価値を。
- ・自分の家 etc.の前で小屋売り
- ・効能
- ・郷土料理→知る→作り方、食材
- ・地域食材を利用した郷土料理の普及は？
- ・学校給食→食育→郷土料理を
- ・地元食堂。地元の食材のみ利用。
- ・郷土料理の掘り起こし。いずみや等。
- ・町家、ピカイチ、スーパーの産直市をもっと。
- ・魚がおいしい。多様。
- ・地域を愛する心を育てる。
- ・形の悪さ、ナメクジ、虫→加工
- ・新鮮さを知ってもらう。

## ⑦ 地域食材を積極的に購入し、地産地消率を高めるためのアイデアは？

7 グループ

16票

- 〔施策〕
1. 地域食材販売情報（種類及び店舗）
  2. 地域食材のブランド化
  3. 地産地消の意義の周知（生産者も買う人も）

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・地域食材を販売している店舗情報を周知
- ・地域ブランドの食材から1～2点絞っての積極的なアピールでIYOのブランド化
- ・食フェス等、イベント開催にて伊予市の色々な食材を積極的にアピールする。
- ・石もちとか雑魚の食べ方をPR。市民に食べてもらう。
- ・地産地消の意義を市民へ向けてPR。生産者も買う人も。
- ・昔ながらの調理方法をレシピ化
- ・どれぐらい販売実績があるか。
- ・おたたさん（魚の行商）、人材の活用。山、農産物にも。



### ⑧ 介護予防教室等への参加を継続するためのアイデアは？

1 グループ

2 票

- 〔施策〕
1. おたのしみ会をつくる（遠足、温泉）
  2. PRの工夫をする。予算を増やしてほしい。

- （ワールドカフェで出されたポストイット）
- ・周知をしてもらう。広報紙など。
  - ・PRをわかりやすくしてほしい。
  - ・介護予防メニューの紹介PR
  - ・食事を作って皆で食べる。
  - ・サロンなどの地域での交流広場を活用する。
  - ・地区でなく、伊予市全体でコミュニティ利用したい。
  - ・ポイント制を導入する（入浴券プレゼント）。
  - ・年に1回、遠足に行く。温泉に行く。
  - ・低価格の利用でお楽しみ会等を月1とか年1とか実施してはどうか！

- ・介護するための勉強会もしてほしい。
- ・予算を増やしてほしい。



### ⑧ 介護予防教室等への参加を継続するためのアイデアは？

3 グループ

7 票

- 〔施策〕
1. 目的を明確にする
  2. 活動の場・用具の整備
  3. 介護情報の提供

- （ワールドカフェで出されたポストイット）
- ・知らなかった。もっと宣伝を。
  - ・予防介護を知ってもらう方法は？
  - ・現在計画中の事項等を、若い人へも周知できないか？
  - ・休日、祭日に保健センターを利用し、介護教育をしてはどうか？介護器具の使用法の指導をしてみてもいい。
  - ・常時、案内、広報を行っている場所が欲しい！
  - ・参加したら出勤扱いにしてもらえる仕組みがあれば参加しやすいと思う。
  - ・参加を積極的に誘ってあげる。
  - ・とても大切なので周知徹底
  - ・明確に情報を発信



### ⑧ 介護予防教室等への参加を継続するためのアイデアは？

8 グループ

2 票

- 〔施策〕
1. 広報紙を活用し、介護予防等の活動やサークル、サロンの紹介をする。  
（社協だよりなども使い）
  2. サロンや地域での寄り合いの場を有効活用する。

- （ワールドカフェで出されたポストイット）
- ・介護予防法の宣伝の充実。色々な事例の案内、紹介
  - ・高齢者グループの活動の実態の紹介
  - ・予防メニューのPR

- ・お互いの声かけによる孤立化の防止
- ・友人同士の声かけによる活動の案内の強化
- ・介護予防教室の存在を知らなかった。

### ⑨ 認知症対策として市民の立場で何ができると思いますか？

10グループ

4票

- 〔施策〕
1. 世代間交流、世代内交流の機会を作る。→各戸（高齢者の有無に関わらず）1名参加等（人権集会のような形式）で幅広い世代で交流、勉強（認知症の）をする。
  2. 高齢者クラブのイベント参加型企画を行政がサポートする。
  3. （この事に限らず）ボランティア参加に対して（地域への貢献）ポイントをつけていく等、その貢献度を「見える化」できるような仕組みづくり

（ワールドカフェで出されたポストイット）

- ・認知症に対する理解を深める、行政による勉強会の開催。
- ・認知症サポーター制度の認知率の向上
- ・高齢者が集える場所が地域によって充分にない→整備
- ・軽度発症者への地域や市(行政)からのサポート。
- ・認知症対策。認知症の予防、進行の防止。認知症発症者会への対策。



### ⑩ ボランティア・チャレンジの参加者数を増やすアイデアは？

3グループ

11票

- 〔施策〕
1. 条件整備
  2. 窓口一本化

（ワールドカフェで出されたポストイット）

- ・県、市町程、知らせることを知らない。
- ・もっと皆に伝わる方法を考えて欲しい。
- ・一般の人が理解できていない。何かでPRを。
- ・ボランティアが負担にならないPRをして欲しい。
- ・希望、具体的目的がわからない。どこで何をするか。
- ・なぜ増やしたいのかというビジョンがわからない。
- ・清掃活動を増やす為に情報を発信。
- ・土日、福祉センター職員が出動してください。
- ・希望、具体的目的がわからない。どこで何をするか。
- ・必要目的を回覧板にて連絡ください。

### ⑪ 人権意識を高めていくアイデアは？

6グループ

4票

- 〔施策〕
1. 世界人権デー(12/10)に基づいて、伊予市の条例を再確認して、伊予市家庭人権デーを創設する。家族で人権問題を深める日とする。

（ワールドカフェで出されたポストイット）

- ・人権の説明（差別）の困難
- ・普段の家庭生活の中で人権を意識して行動する。
- ・日常生活の中で深めていけば良い。
- ・セクハラ、パワハラをなくす活動を行おう。特に小さな企業が危ない。
- ・人権集会への参加者が少ないようです。何かの集まりの時にやる。
- ・NPO法人、障がい者施設での行事に参加者が増えれば、いじめなどが減少するのでは。
- ・「人権の日」は家族 or 友人と話し合う！（伊予市民）
- ・世界人権デー（12/10）及び伊予市条例を再確認して、家庭人権デーを確立する。
- ・伊予市人権デーを作る！条例化する！
- ・世界人権デー 12/10
- ・人権的思想を深める。
- ・施設などで人権講話会などを開く。



## ⑫ 魅力的な図書館にするためのアイデアは？

1 グループ

4 票

- 〔施策〕
1. 司書免許の所持者をピックアップしてみても。
  2. 休館日が多い。休館日は月1にしてほしい。時間延長してほしい。

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・休館日が多い。休館日は月1にしてほしい。
- ・開館時間を長くする。
- ・健康に関する本を沢山置いてほしい。
- ・図書が少ない。
- ・週刊誌も増やしてほしい。
- ・学習フロアをつくってほしい。
- ・児童書のフロアをつくり、子どもが居やすい空間をつくってほしい。大人フロアと分ける。
- ・机を増やしてほしい！
- ・アットホーム的、フラットな図書館
- ・市内在住の司書免許所持者をピックアップしてみてください。

## ⑫ 魅力的な図書館にするためのアイデアは？

6 グループ

12票

- 〔施策〕
1. 閉館時間の見直し。休館日をなくす。
  2. 伊予市の歴史のわかるデータを作る（文化遺産含む）。DVD化、パソコン化
  3. キッズルーム、飲食コーナー（自販機コーナー）、スタディールームの充実化

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・環境作り。安全、静、明るさ。
- ・不要になった本を市で引き取ってくれますか。大洲市の図書館は良かったですよ。
- ・新刊図書の整備（例）歴史的な書物の充実
- ・子どもを中心としたあらゆるブックを揃えること。
- ・伊予市の歴史のわかるデータを作してほしい(ビデオなどでデータ化すれば場所をとらない。情報化に対応。)
- ・受験生等が集中出来るよう衝立等で隔離できる様に。
- ・区分け「子ども（5歳以下）」「勉強のみ」「読書のみ」etc.
- ・利用方法。事務的手続きが簡単に。
- ・借りやすいシステムとする。
- ・借りたい本がネットで見えないか（ホームページで）。
- ・DVDが見られる個室、ライブラリーは計画されているのか。
- ・子どもが寄りやすい場所に。
- ・休館日をなくす。
- ・開館時間を長くして利用しやすく！

## ⑬ スポーツに親しむ環境づくりに必要なことは？

5 グループ

11票

- 〔施策〕
1. 参加できる講座等の情報発信、強化
  2. 公民館等の近場で手軽にできる場所を作る
  3. インストラクターバンクの整備、利用

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・イベントの開催についてなどの情報網をしっかりとつくる。
- ・何が出来るか情報を。
- ・松山コミュニティセンターのように何が出来るかのPR。
- ・健康体操をする場所。入部の仕方のPR。抽選は×。
- ・松山のようにヨガ教室等が多くあればよい。今は松前とかに行っている。
- ・インストラクターバンク。人材登録、得意。
- ・インストラクターの要請
- ・自転車、歩きで行ける場所で先生がまわってきて指導する体制。常駐でなくてよい。
- ・ストリートバスケ等、思いつきでその場で参加できる町中のバスケ場。
- ・レクバレー等、活動場所が学校くらい。安くて簡単に借りられる場所。
- ・しおさい、ウェルピアが遠い。公民館単位でスポーツ器具があればよい。体力作りしたい。
- ・筋トレジム室。インストラクターによる使い方の講習会。
- ・リハビリもできる。会話が地区の人とできる。自転車や足踏み、ぶら下がり etc.→寄付も募る
- ・伊予市がスポーツ推進
- ・企業のスポンサー化
- ・去年のウェルピアのポイント制をまた。
- ・営業時間の延長（会社帰りに行けるように）

### ⑬ スポーツに親しむ環境づくりに必要なことは？

9 グループ

13票

- [施策]
1. 登山（泰皇山）史跡巡りを含め、サイクリングロード、コースを作る。マリンスポーツを活性化。ヨットハーバー、リゾートハウスを作る。
  2. プロスポーツ（マンダリンパイレーツ、オレンジバイキング）を誘致する。ため池の有効利用。
  3. 人材リスト作成。スポーツに関して個人で申請。経験者を呼んで人材を活かす（バドミントン、野球）。一緒に遊んで市民の輪を拡げる。

（ワールドカフェで出されたポストイット）

- ・マンダリンの選手が福祉関係に参加することができる。
- ・マンダリンパイレーツを誘致する。ウェルピア。
- ・フィッターのような体カづくりができる場所
- ・お金を使わないスポーツ
- ・しおさい公園、ウェルピアの活性
- ・谷上山から五色浜をスポーツの環境として、冒険心をかきたてる様なアクティブな観光地には？
- ・海、山を利用した環境を利用
- ・カヌー、マリンスポーツ、ヨット。
- ・登山、サイクリング、史跡巡り。
- ・登山、泰皇山、大谷池、谷上山
- ・サイクリングロード（ヒルクライミング）。泰皇山。
- ・人材リスト作成。スポーツに関して個人で申請。経験者を呼んで人材活用。バドミントン、野球教室。

- ・池の再利用（ため池）
- ・スポーツに親しむ理由は？
- ・スポーツの広場は！（クロッカー）



### ⑭ 農山村の魅力をも高めグリーンツーリズム体験者数を増やすアイデアは？

2 グループ

4 票

- [施策]
1. 市民に徹底されていない。
    - ・体験場のマップを作る。
    - ・新しいブランドを作る。
  2. 新地を開発する。宿泊施設も作る。

（ワールドカフェで出されたポストイット）

- ・しっかりとPR
- ・公共施設などでPRする。
- ・伊予市民は意外に体験したことがない→市民の体験率を上げる→学校行事に組み込む。&市民以外の人にアピールするには？
- ・グリーンツーリズムの担当を明確に!! 町家？
- ・グリーンツーリズム提供者側からも担当窓口の固定をしてもらいたい。
- ・「グリーンツーリズム」専門家だけの自己満足。用語が意味不明（60代の年寄り）。
- ・山林地に林道を作る（山林地から木材を運ぶ道を）。
- ・農業収入が高められる営農指導体制を構築する。市農政、農協などの応援で。

- ・現在、不耕作地が各地に多く見られる。土地利用の高度化が見込まれる行政指導を。
- ・農村には古民家が増えている。農業を目指す各方面からの人材確保を。
- ・自然環境を活かした農作物の導入と支援を(中山地方、高齢化、野菜の導入など)。
- ・山林資源の活用（山林が多く占めている）。スギ、ヒノキの用材の販売など。
- ・山林の手入れ（雑木でいっぱいである）。このためイノシシ等が増えている。
- ・ブランド物を作る。

**⑭ 農山村の魅力高めグリーンツーリズム体験者数を増やすアイデアは？****10グループ****13票**

- 〔施策〕
1. モデルコースの周知、PR
  2. 休耕地を活用して、都市部の人が営農（例えば年間賃貸等）体験を長期に渡ってできるような企画（農機、農地、知識などの地域の力を活用）をする。
  3. 農山村の魅力を高める（休耕地の活用、森林整備の環境づくり等）施策。農山村の魅力高めない限り、グリーンツーリズムは定着しない。

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・例：体験者『いいとこだけ』受け入れ側
- ・体験者と受け入れ側の目的のギャップ
- ・『いちご』だけでは！年間を通じての来客は？
- ・空き屋活用、農家民宿
- ・宿泊を含めたプログラミング。"お金を使ってもらう"
- ・モデルコースの作成。1日、半日（AM）（PM）
- ・連携する必要。

**⑮ 空き店舗の効果的な活用方法のアイデアは？****9グループ****11票**

- 〔施策〕
1. 市全体をベッドタウンにする。商店街を住宅にする。1F店舗、2F貸住宅。飲食業を沢山作って欲しい。商店街を一体化。三世代が遊べるところに。1つの街に。その為に駐車場を確保。
  2. スピーダー復活。九州へのアクセスを良くする。海を活かす。そうしたら人の流れが良くなる。
  3. 今後の雇用も含め、住宅、マンションを増やす。統一感をもって住宅等を造成する。

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・1F店舗、2F貸住宅。人が住む商店街。
- ・道路（灘町商店街）を歩行専用道路に。
- ・灘町、駐車場の確保。
- ・事業所を増やす（飲食業）
- ・伊予市の利便性を知ってもらう。JR、電車、空
- ・港に近い。ベッドタウンになってしまう！
- ・松林にして景観を良くする（埋立地にして）。
- ・貸し出し。中学生、高校性でも使える賃料で。
- ・スピーダーの必要性を考える。九州に行く方法がない。
- ・港を中心に商店ができる。
- ・伊予市の特産物PR、販売ができる。

**⑯ クラフトの里の魅力高めるためには何が必要だと思いますか？****8グループ****7票**

- 〔施策〕
1. トイレを充実させる（女性用のトイレを増やし、障がい者用トイレの設備など）
  2. 休憩スペースを充実させる。駐車場スペースの確保。（雨天時に使用できるスペースの確保及びベンチを増設）
  3. 地域農家からの野菜を提供してもらい、品揃えを増やす。

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・女性トイレの充実
- ・設備の充実。商品のレベルアップ。特有の商品の開発。
- ・駐車場が狭い。拡張が必要。インターに伴う客層の範囲の想定。
- ・駐車場が足りない。
- ・クラフトの里とシーサイドの連携、強化
- ・販売品の充実で人は集まると思います。
- ・地産地消の充実。調理方法の案内。
- ・商品の品揃えの充実を図る。
- ・野菜の管理方法の改善
- ・人材の再教育。お客様への声かけの必要。
- ・木工クラフトやそば打ちなど、一度行った人は楽しかったといっています。

**⑪ ログマークをどのように活用していけばいいと思いますか？****6 グループ****9 票**

- 〔施策〕 1. 伊予市住民の車や自転車等にログマーク(ステッカー)を付ける(ヘルメット含む)。  
2. 小学生の黄色い帽子にログマークを付ける。

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・日常生活の中でどう活用するか？
- ・新しい回覧板にプリントを。
- ・伊予市の特産品に活用を！(みかん、栗、イチゴ等)
- ・各地区の大きな行事があれば配付する。
- ・各種イベント(スポーツや文化)で利活用して。
- ・今月、国体用宣伝ポロシャツ伊予市用を購入しましたが、ログマークを付けやすい方法を考えて下さい。
- ・伊予市指定のゴミ袋にはりつける(プリントする)。
- ・伊予市住民の車、自転車にログマークをつける。
- ・個人の名刺などに活用を。
- ・ログマークをもっと大きくしてインパクトのあるものにしてはどうか。
- ・地域住民にログマークを知らせて利用方法を考える。
- ・伊予市のカラーがでるログマークを市民に募集する。

**⑫ 地域コミュニティ活動を活性化するには何が必要だと思いますか？****10グループ****3 票**

- 〔施策〕 1. 地域の行事等のボランティア参加に対してポイントをつけていく等、その人の貢献度の「見える化」できるような仕組み作り。  
(過度に進めると若年世代には住みにくくなるかも)

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・労力に対するコストパフォーマンス。コミュニティの必要性。→メリット？→地域ブランド向上
- ・自主防災。認知症対策へのつながり
- ・公民館の使用方法的再検討

**⑬ 移住者の気持ちになって考えると何が重要だと思いますか？****5 グループ****20票**

- 〔施策〕 1. 全ての移住者を地元民が熱烈歓迎！  
2. 移住者専用の情報網(仕事、環境等の紹介)  
3. 伊予市移住者の会

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・職の斡旋。商店街の空き店舗で移住者が商売できるよう、市がマッチングするとか。
- ・公の仕事、パート紹介
- ・移住前の仕事、環境相談が必要
- ・移住先の情報や地域との関わり方
- ・移住者専用の情報網をつくる。
- ・明るい挨拶を心掛けてする。
- ・一緒に集まる機会
- ・サークルとかボランティアに参加してみる。
- ・草引き、井戸掃除 etc.に参加
- ・近くの人とコミュニケーションをとれるようにする。
- ・いきいきサロン(宮の下)等に入ることを勧める。世話係の必要性。
- ・付き合いたいかどうか、これから骨を埋める気持ちがあるかで関わり方が違う。
- ・入ってくる人の情報→地域の人を知る→声かけ
- ・移住者の心掛け。中に入りたいという気持ち。
- ・移住者の定義
- ・全ての移住者を地元民が熱烈歓迎する。
- ・町内の人の声かけ。おせっかい、井戸端会議



⑱ 移住者の気持ちになって考えると何が重要だと思いますか？

7 グループ

4 票

- 〔施策〕
1. 地域団体の育成
  2. 移住に関する情報の取りまとめ
  3. 実現可能な体験施設の設備

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・周辺部の住宅情報の一元的な提供→移住希望者がワンストップで探せる
- ・地域の行事が多く有り、住民と話ができる環境
- ・地域コミュニティの移住者受け入れボランティア、責任者(地域になじむための相談役)の選任。
- ・集落の活動に参加を依頼する。
- ・公共病院施設。車がないと分かりにくい。
- ・体験できる施設があれば良い(ごごしま 3年)
- ・交通の便利

⑳ 審議会等への女性委員の登用率はどのくらいが適切だと思いますか？

9 グループ

4 票

- 〔施策〕
1. 審議会内容により登用率は検討する。30%でも50%でも構わない。
  2. 登用率に関係なく意欲、知識の有る方が行えば良い。

(ワールドカフェで出されたポストイット)

- ・最低30%を望む。
- ・審議会に対しては50%。
- ・50%以上。将来的に50%を目指すように。
- ・登用率は必要ない。1人でもしっかりした人が入ればOK。

コメント

<南山大学 前田先生>

つつい発表にも熱がこもり、「どうしてこういう提案になったのか」を説明されて発表の時間も延びていましたが、まさにそれぞれのテーマについてしっかり考えてご提案していただいたのではないかと思います。

<別府大学 篠藤先生>

今日一日、かなり大変だったと思います。今後いろいろなことに関心を持って、「将来のまちがこんな風になったら良いよね」ということをみんなで話せると、伊予市がますます良くなるのではないかと思います。

<伊予市 未来づくり戦略室>

総括するとPR不足、情報発信不足が大きな問題だと思いました。皆様は市民の中から無作為に選んだ2000名の中から希望して参加していただいた市民の代表です。この代表の皆様のご意見をどう扱うか。しっかり受け止めて、出来ることから反映させて実際に数値が上がるように、10年後、より良い伊予市になるように取り組んでいきたいと

